



VNET2-DANTE BRIDGE

VNET2 Connection Bridge for Dante Sources

JP 安全にお使いいただくために



注意
感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (¼" TS 標準ケーブルおよびツイストロッキングプラグケーブル) を使用してください。

注意
火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

注意
このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

注意
取り扱いとお手入れの方法について

ての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

- 注意**
1. 取扱説明書を通してご覧ください。
 2. 取扱説明書を大切に保管してください。
 3. 警告に従ってください。
 4. 指示に従ってください。
 5. 本機を水の近くで使用しないでください。
 6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
 7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
 8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
 9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加え

てアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。
11. すべての装置の接地点 (アース) が確保されていることを確認して下さい。
12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。
13. 付属品は本機製造元が指定したものののみをお使いください。



カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したものの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用している際の搬送の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した燭燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所にて廃棄してください。

21. 本装置は 45°C 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合でも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas, Klark Teknik, Lab Gruppen, Lake, Tannoy, Turbosound, TC Electronic, TC Helicon, Behringer, Bugera, Oberheim, Auratone, Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2021 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 Musictribe.com/warranty にて詳細をご確認ください。

ありがとうございました

プロのオーディオアプリケーションに Dante Bridge をお選びいただきありがとうございます。このユニットから可能な限り最高のパフォーマンスを得るために、このガイドの内容を検討してください。

開梱

開梱後、破損がないかよくご確認ください。破損が見つかった場合は、すぐに当該配送業者にご連絡ください。荷受人として、あなたはあらゆる請求を開始しなければなりません。再発送が必要な場合に備えて、すべてのパッケージを保管してください。

はじめに / 主な機能

Dante は、Audinate (audinate.com) によって開発、特許取得、ライセンス供与された低遅延のマルチチャンネルデジタルオーディオネットワークテクノロジーです。

Dante Bridge を使用すると、コンピューターまたは IT システムを、Dante をネイティブにサポートしていないさまざまな製品に接続できます。

ダンテブリッジの 3 つの主な用途は次のとおりです。

- VNET TM コントロールを使用した Dante オーディオから AES3 への変換 (TANNOY QFlex などの VNET2 搭載製品で使用)
- Dante オーディオからアナログオーディオへの変換 (アナログ入力を備えた製品への接続用)
- VNET コントロールを使用した Dante オーディオからアナログオーディオへの変換 (第 1 世代の VNET 搭載製品で使用)

Dante Bridge が VNET 搭載デバイスのネットワークに接続されている場合、すべてのデバイスは、PC からの直接イーサネット接続を介して制御および監視できます。

頑丈なスチールケースに収納された Dante Bridge は、1U ラックスペースで自立型またはラックマウント型 (最大 2 つの追加アクセサリ製品とともに) で使用できます。

主な機能は次のとおりです。

- 頑丈なスチール製エンクロージャ
- 自立型またはラックマウント型のオプション
- Power Over Ethernet (PoE) を使用したセルフパワー
- 1km の VNET ネットワークケーブルを駆動可能
- 特別なケーブルは必要ありません

コンピュータシステム要件

最小要件:

- 1GHz を超えるプロセッサを搭載した PC
- > 512 kb RAM
- 32 ビット Windows™ オペレーティングシステム (NT、2000、XP、Vista、Windows 7)
- CD-ROM ドライブまたはインターネットアクセス
- イーサネット接続

インストール

Dante Bridge はイーサネットを使用しているため、ドライバーをインストールする必要はありません。ただし、オーディオルーティングを制御するには Audinate の Dante Controller PC ソフトウェアをインストールし、VNET デバイスを制御および監視するには PodWare アプリケーションをインストールする必要があります。

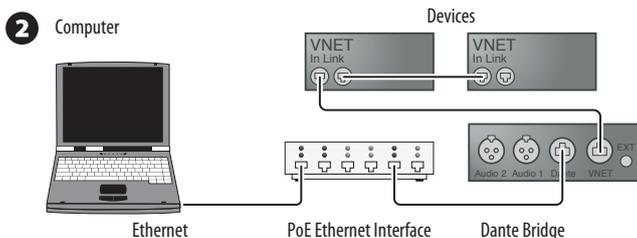
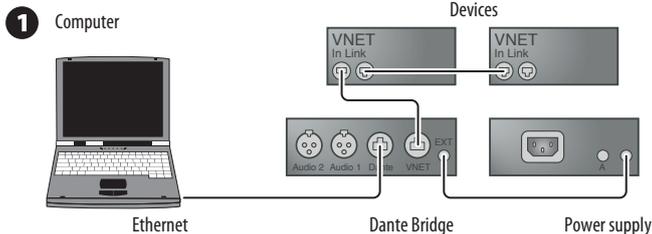
外部電源

この製品は、Power Over Ethernet (PoE) イーサネットスイッチから電力を供給される場合があります。ただし、そのようなスイッチが使用できない場合は、3.5mm ジャック付きのケーブルを介して外部アクセサリ電源からユニットに電力を供給するための対策が講じられています。1 つまたは 2 つの互換性のあるアクセサリは、単一の電源から電力を供給できます。A 出力または B 出力は同一であるため、どちらを使用してもかまいません。

コンピューターの接続

次の2つの方法のいずれかで、コンピューターを Dante Bridge に接続できます。

- コンピューターのイーサネットポートから Danteブリッジに直接接続する
- コンピューターをイーサネットスイッチに接続し、同じスイッチ (または同じネットワーク上の別のスイッチ) を Dante Bridge に接続する



Dante Bridge では、手動の IP アドレス指定は必要ありません。デフォルトでは DHCP に設定されているため、DHCP サーバーが自動的に IP アドレスを割り当てます。DHCP サーバーがない場合は、「ゼロ構成」を使用します。いずれの場合も、アドレス指定は完全に自動化されています。このトピックの詳細については、Audinate Web サイトの自動構成に関する情報を参照してください。

PodWare のセットアップ

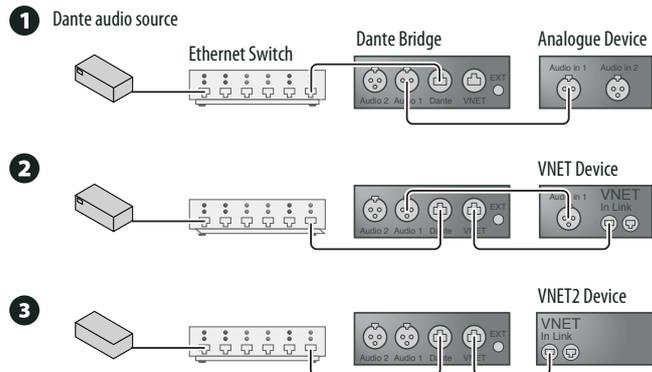
PodWare アプリケーションは、イーサネット経由の直接接続を使用して、Dante Bridge 経由で接続されたデバイスと通信します。

PodWare V5.68 以降を使用して、[ネットワーク]-> [ネットワークの追加] ダイアログで Dante Bridge ネットワークを選択して追加します。

複数の Danteブリッジをイーサネット経由で PodWare に接続できます。ブリッジは PodWare に対して透過的であり、デバイスはデバイスツリーの Dante Bridge ネットワークの下に表示されます。

デバイスの接続

- アナログオーディオアプリケーションの場合、一方または両方のオーディオ出力 XLR をデバイスのアナログ入力に接続するだけです。
- VNET デバイスの場合、Dante Bridge の VNET Link ソケットを、制御する最初のデバイスの VNET In ソケットに接続します。次に、このデバイスの VNET リンクソケットを次のデバイスの VNET 入力ソケットに接続し、必要に応じて続行します。デバイスが接続されている順序は重要ではありません。「チェーン」の最後のデバイスのリンクソケットを接続する必要はありません。
- VNET 2 デバイス (長距離 AES3 が VNET ネットワークと統合されている) の場合、オーディオはデジタル形式でデバイスに配信されるため、オーディオ出力に接続する必要はありません。(デバイスでデジタル入力を選択する必要があります)。



この製品を 16 を超える VNET ノードまたは 100m を超える VNET ケーブルを備えたシステムで使用の場合は、アプリケーションノート DQ2707「VNET の大規模システム統計」を参照してください。

オーディオルーターティング

Dante Bridge は、Dante ストリームからの 1 つまたは 2 つのオーディオチャネルを使用できます。通常、ユニットはチャネルを入力 1 と入力 2 にルーティングするように構成されます。チャネル 3 と 4 にルーティングするオプションが表示される場合があります。ただし、これらは製品には使用されていません。オーディオルーターティングは、Dante Controller アプリケーションを使用して実行されます。ルーティングを明確にするために、すべての Dante デバイスに名前を付けると役立つ場合があります。

ラックマウント

ダンテブリッジとアクセサリ電源は、自立型で使用できます。19 インチラックにマウントする場合は、アクセサリマウントキットを使用できます。

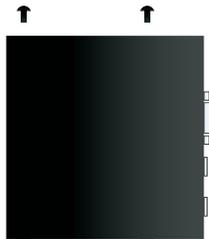
この製品は、正常な熱を発生することに注意してください。ただし、過熱を防ぐために、ユニットの周囲に空気が自由に流れるようにしてください。ユニットを積み重ねないでください。

アクセサリを取り付けキットパネルに取り付けるには、次の手順に従います。

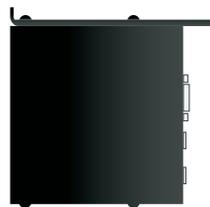
1. アクセサリを取り付けキットパネルに取り付けるには、次の手順に従います。



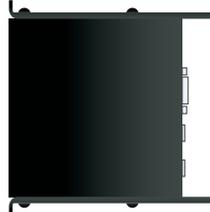
2. アクセサリの片側から 2 本のネジを外します。



3. 2 で取り外した 2 本のネジを使用して、1 つの取り付けブラケットをアクセサリの側面に緩く取り付けます。「耳」を正面に向け、外側を向きませます。



4. 反対側についても 2 と 3 を繰り返します。次に、蓋をユニットの背面に向かって最後まで押してから、ブラケットの耳を蓋の前端に合わせます。次にネジを締めます。



5. 取り付けパネルの裏側まで取り付けブラケットを備えたアクセサリを提供し、1 で取り外した。セットのネジ、ワッシャー、およびナットを使用して所定の位置に固定します。

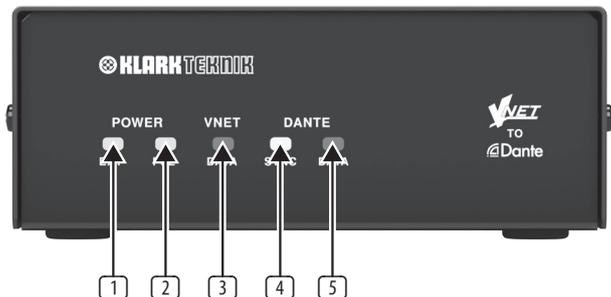


ブラケットの後端の穴は、必要に応じてケーブルタイオフポイントとして使用できることに注意してください。

操作

Dante Bridge がコンピューター / スイッチとオーディオデバイス (および該当する場合は電源) に接続されると、ユニット自体にそれ以上の調整は必要ありません。ユニットの前面にあるインジケータは次のように動作します。

フロントパネル



ユニット背面の EXT 電源ソケットに DC 電源が供給されると、EXT 電源インジケータ ① が点灯します。

PoE 電力インジケータ ② は、DC 電力が Power Over Ethernet (PoE) スイッチによって提供されると点灯します。

ネットワークインジケータ ③ は、VNET ネットワークからデータを受信しているときに点灯します。

Dante SYNC ④ インジケータは、ユニットに Dante Clock 信号が供給されると点灯します。それはしないことに注意してくださいデバイスがクロックマスターとして機能している場合に点灯します。

Dante DATA ⑤ インジケータは、ユニットがイーサネット経由で制御データを受信しているときに点灯します。

フロントパネル



Audio Out 2 オス XLR コネクタ ① は、2 番目のチャンネルのアナログオーディオ信号を伝送します。

オーディオ出力 1 オス XLR コネクタ ② は、最初のチャンネルのアナログオーディオ信号を伝送します。

Dante RJ45 コネクタ ③ はイーサネットポートであり、コンピューターまたはイーサネットスイッチから接続する必要があります。

VNET RJ45 ソケット ④ は、VNET ネットワークの最初の VNET デバイスに接続する必要があるシリアル VNET ネットワーク接続です。VNET 2 が有効な場合、制御データと AES3 デジタルオーディオを伝送します。Bridge をオーディオのみ (制御ではない) に使用している場合、このソケットは使用されません。

Ext 3.5mm ジャックソケット ⑤ は、ブリッジに外部電源を供給するために使用されます。承認された DC 電源のみを使用してください。PoE スイッチを使用している場合、このコネクタへの接続は行われません。

トラブルシューティング

EXT 電源インジケータが点灯しない

PoE イーサネットスイッチに接続していない場合は、アクセサリ電源を使用する必要があります。これが正しく接続されていることを確認してください。電源装置の電源インジケータが点灯するかどうかを確認します。PoE イーサネットスイッチを使用している場合、外部電源は不要であり、このインジケータは点灯しません。

接続されたデバイスに音声がありません

Dante Audio 信号が正しいチャンネルにルーティングされていることを確認してください。VNET2 を使用している場合は、デジタル入力を選択されていることを確認してください。オーディオケーブルも確認してください。

ダンテコントローラーがブリッジを見つけれられない

Dante Data インジケータが点滅して、イーサネット接続があることを示していることを確認します。イーサネットネットワークケーブルが長すぎず、正しく接続されていて、損傷していないことを確認してください。コンピュータのワイヤレスポートをオフにします。イーサネットスイッチに QoS 機能があることを確認してください。audinate.com の「Dante FAQ の設定」および「トラブルシューティング FAQ」も参照してください。

Pod Ware はデバイスを検出しません

Pod Ware に Dante ネットワークノードを追加したことを確認してください。また、適切なインジケータが点灯していることを確認してください。（上記を参照）。VNET ネットワークのケーブルが長すぎず、正しく接続されていて、損傷していないことを確認してください。ケーブルはアプリケーションノート DQ2707 に準拠している必要があります。Pod Ware がオンラインになるときに、VNET データインジケータが点滅することを確認します。そうでない場合は、VNET のケーブル接続に問題がある可能性があります。Pod Ware がネットワークにアクセスするのをファイアウォールがブロックしていないかどうかを確認します。

技術仕様

イーサネット

コンプライアンス	100 ベース T または 1000 ベース T
----------	--------------------------

VNET

ケーブルタイプ	カテゴリ 5UTP (またはそれ以上)
最大 ケーブルの全長	1 キロ
最大 ネットワークスパン	1 キロ
コネクタ	標準 RJ45

力

3.5mm ジャックツージャックリードを介して電源からのみ提供されます

Power

消費	最大 3W
----	-------

アナログオーディオ

周波数応答	20 Hz~20 kHz + -0.2 dB
THD	<0.005% typ. 1 kHz で
ダイナミックレンジ	114 dB (加重)
最大 出力レベル	600 オームに +10dBu
Max. output level	+10 dBu into 600 ohms

環境

温度	0~ +45°C
湿度	0~80% RH (結露しないこと)

物理的

寸法 (H x W x D)	45 x 117 x 117 mm (1.8 x 4.6 x 4.6")
重量	0.6 kg (1.3 ポンド)

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 /

電圧の選択: ユニットの電源ソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230Vと120Vの2つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにならないときは、musictribe.com の“Support”内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の“Support”内にある“Online Support”でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

